

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	インテリア基礎
科目基礎情報					
科目番号	0025		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	0	
教科書/教材	スタイル別にわかるインテリアの基本 新装版 (エクスナレッジ)、建築模型をつくらう (井上書院)				
担当教員	青木 哲				
到達目標					
以下の項目を目標としています。 ① 模型、三次元図法を用いて、インテリアに関する三次元空間などを表現する ② 空間を豊かにするインテリアを創造的に組み立てる ③ プレゼンテーション能力を養う					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
① 模型、三次元図法を用いて、インテリアに関する三次元空間などを表現する	学習した表現技術について十分に理解し、活用できる。		学習した表現技術について理解し、ほぼ活用できる。		学習した表現技術について理解できず、活用できない。
② 空間を豊かにするインテリアを創造的に組み立てる	テーマに対応した創造的な優れたデザインを作成できる。		テーマに対応した創造的なデザインを作成できる。		テーマに対応したデザインを作成できない。
③ プレゼンテーション能力を養う	創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができる。		創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができる。		創意工夫や丁寧な作業ができず、分かりやすい作品を作成することができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	生活に身近なインテリアを通して、三次元空間を表現することを学ぶ。				
授業の進め方・方法	授業では、課題の作成と模型の作製を通じて表現を学ぶ。 英語導入計画: Technical terms				
注意点	三次元の表現技術を習得するためのトレーニングとして、常に建築・空間・家具等を意識して体験・観察することが重要である。 また、積極的に建築・デザインの雑誌など目を通して感性養うと同時に、表現技術の参考とすること。 課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の1~10%を減じた値で評価する。具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点(%)を対応させる 学習・到達目標: (D-2 情報・論理系) 100%				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	色彩・カラーコーディネートに関する基礎知識 (ALのレベルC)	色彩・カラーコーディネートに関する基礎知識が理解できる	
		2週	カラーコーディネート課題1 (ALのレベルC)	カラーコーディネート課題ができる	
		3週	カラーコーディネート課題1 (ALのレベルC)	カラーコーディネート課題ができる	
		4週	プレゼンテーションボードの作り方 (ALのレベルC)	プレゼンテーションボードが作成できる	
		5週	プレゼンテーションボードの制作1 (ALのレベルC)	プレゼンテーションボードが作成できる	
		6週	プレゼンテーションボードの制作2 (ALのレベルC)	プレゼンテーションボードが作成できる	
		7週	プレゼンテーションボードの制作3 (ALのレベルC)	プレゼンテーションボードが作成できる	
		8週	中間のまとめ (作品の講評)	プレゼンテーションボードの講評会	
	2ndQ	9週	課題の趣旨の説明、造形の基礎 (ALのレベルC)	課題の趣旨、造形の基礎が理解できる	
		10週	道具の使い方、平面から立体へ (ALのレベルC)	道具の使い方を理解し、平面から立体が考えられる	
		11週	建築模型の基礎 (ALのレベルC)	建築模型の基礎を理解できる	
		12週	モデリング1 (ALのレベルC)	適切な材料を用いてモデリングができる	
		13週	モデリング2 (ALのレベルC)	適切な材料を用いてモデリングができる	
		14週	モデリング3 (ALのレベルC)	適切な材料を用いてモデリングができる	
		15週	作品の講評	作品の講評会	
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			

		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	環境・設備	表色系について説明できる。	2	
				色彩計画の概念を知っている。	2	
		設計・製図	各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	3		
評価割合						
			課題	合計		
総合評価割合			500	500		
得点			500	500		